

節電スケジュールを作成する

お使いの時間帯に合わせ、節電モードへの動作移行をスケジュール化できます。手動でスケジュールを設定しなくても「自動スケジュール機能」を使用することで、一定期間のそれまでの利用状況から「使用頻度が高い時間帯は節電状態にならないよにする」というような節電スケジュールを自動的に作成して効率的な運用も実現できます。

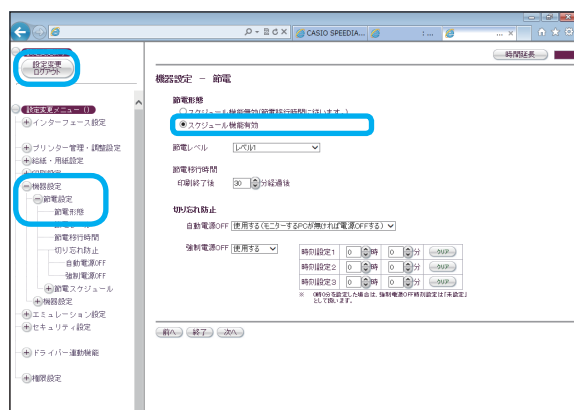
プリンターの機種により表示される画面が異なりますが、基本的な操作は同じです。

自動で節電スケジュールを設定する



注意

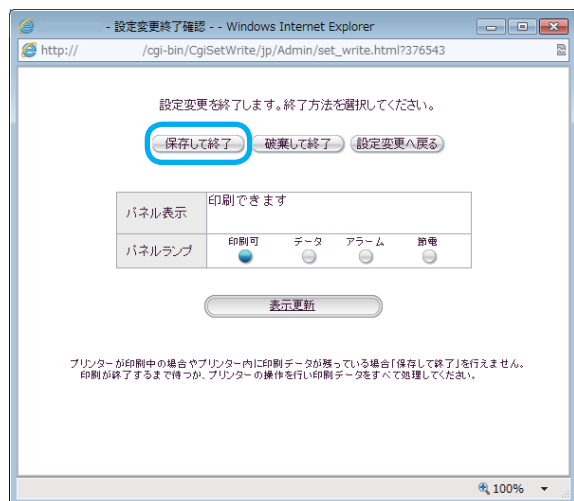
- プリンター導入後1ヶ月間は、節電スケジュールを設定するため使用状況を収集して集計する情報収集期間です。自動スケジュール時間帯は「節電」が「ON（有効）」の設定で動作します。



60-0450

- Web 設定画面を表示します。
 - Webブラウザを起動して、アドレス欄へURL（プリンターのIPアドレス）を入力しログインします。
- 「機器設定」、「節電設定」の順に「+」ボタンをクリックして、「節電形態」をクリックします。
- 「スケジュール機能有効」をクリックします。
 - スケジュール機能無効（節電移行時間に従います。）に設定すると、印刷終了後設定された節電移行時間で節電状態に移行します。
- 「設定変更ログアウト」ボタン、または「終了」ボタンをクリックします。

「設定変更終了確認」画面が表示されます。



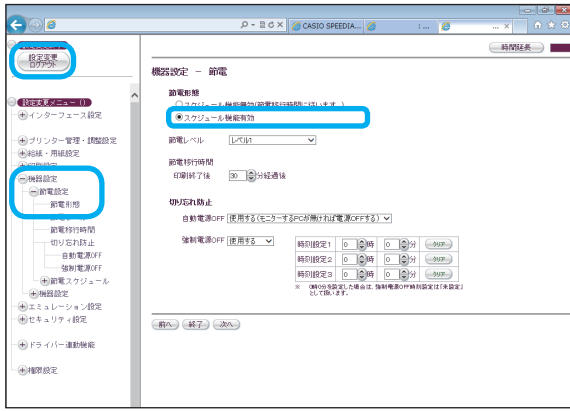
60-0112

- 「保存して終了」ボタンをクリックします。

「保存して終了」ボタンをクリックした場合だけ設定が変更されます。

手動で節電スケジュールを作成／設定する

1. Web 設定画面を表示します。
 - Webブラウザを起動して、アドレス欄へ URL（プリンターのIPアドレス）を入力しログインします。
2. 「機器設定」、「節電設定」の順に「+」ボタンをクリックして、「節電形態」をクリックします。
3. 「スケジュール機能有効」をクリックします。



60-0450

4. 「節電スケジュール」の「+」ボタンをクリックし、「スケジュール設定①～④」のいずれかををクリックします。

- 節電 ON と節電 OFF が 1 日（00:00 ～ 24:00）に 4 回まで設定できます。

- 左の画面は、00:00 ～ 8:30 まで節電 ON、8:30 ～ 17:30 まで節電 OFF、17:30 ～ 24:00 まで節電 ON に設定した表示例です。

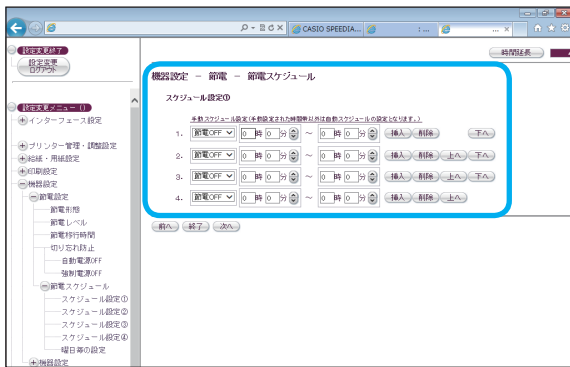
- 4 つの時間帯が重ならないように設定してください。

- 24 時をまたぐ設定はできません。

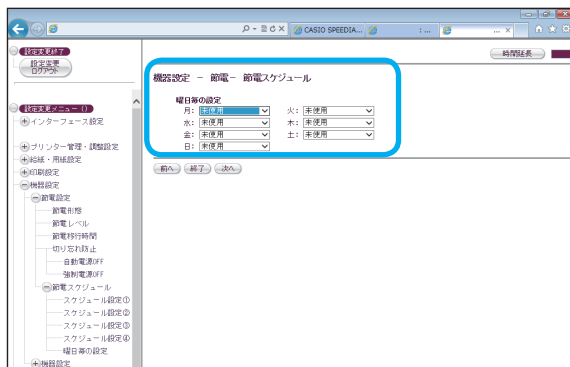
- スケジュールが設定されていない時間帯は、自動スケジュール^{*1}機能によりスケジュールが設定されます。

^{*1}自動スケジュール：プリンターの利用状況から使用頻度により自動で「節電 ON/OFF」を設定します。

5. 「曜日毎の設定」をクリックし、曜日ごとの「スケジュール設定①～④」、または「未使用」を設定します。



60-0451



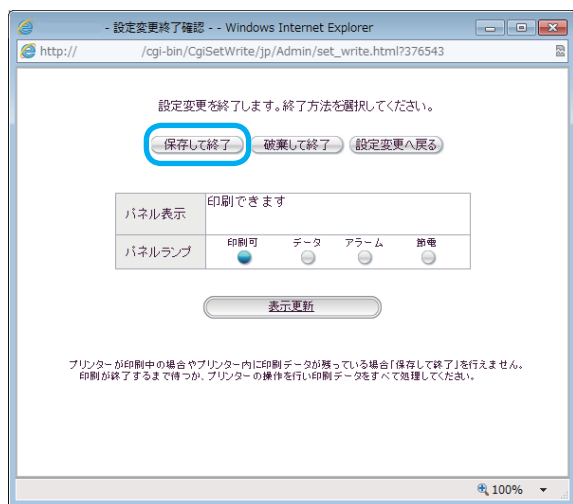
60-0452

6. 「設定変更ログアウト」ボタン、または「終了」ボタンをクリックします。

「設定変更終了確認」画面が表示されます。

7. 「保存して終了」ボタンをクリックします。

「保存して終了」ボタンをクリックした場合だけ設定が変更されます。



60-0112

節電スケジュールを確認する

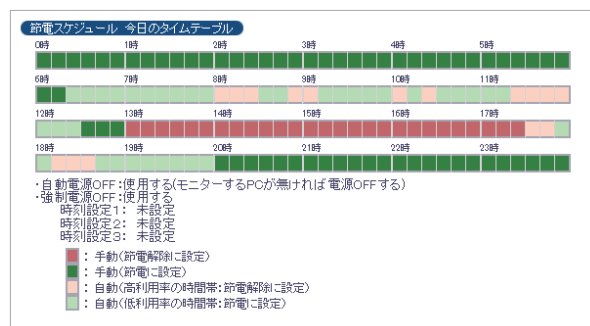
1. プリンター情報表示ページを表示します。

- Webブラウザを起動して、アドレス欄へ URL (プリンターのIPアドレス) を入力します。

2. 「節電スケジュールを表示する」または「節電スケジュールの表示」をクリックして、節電スケジュールを確認します。



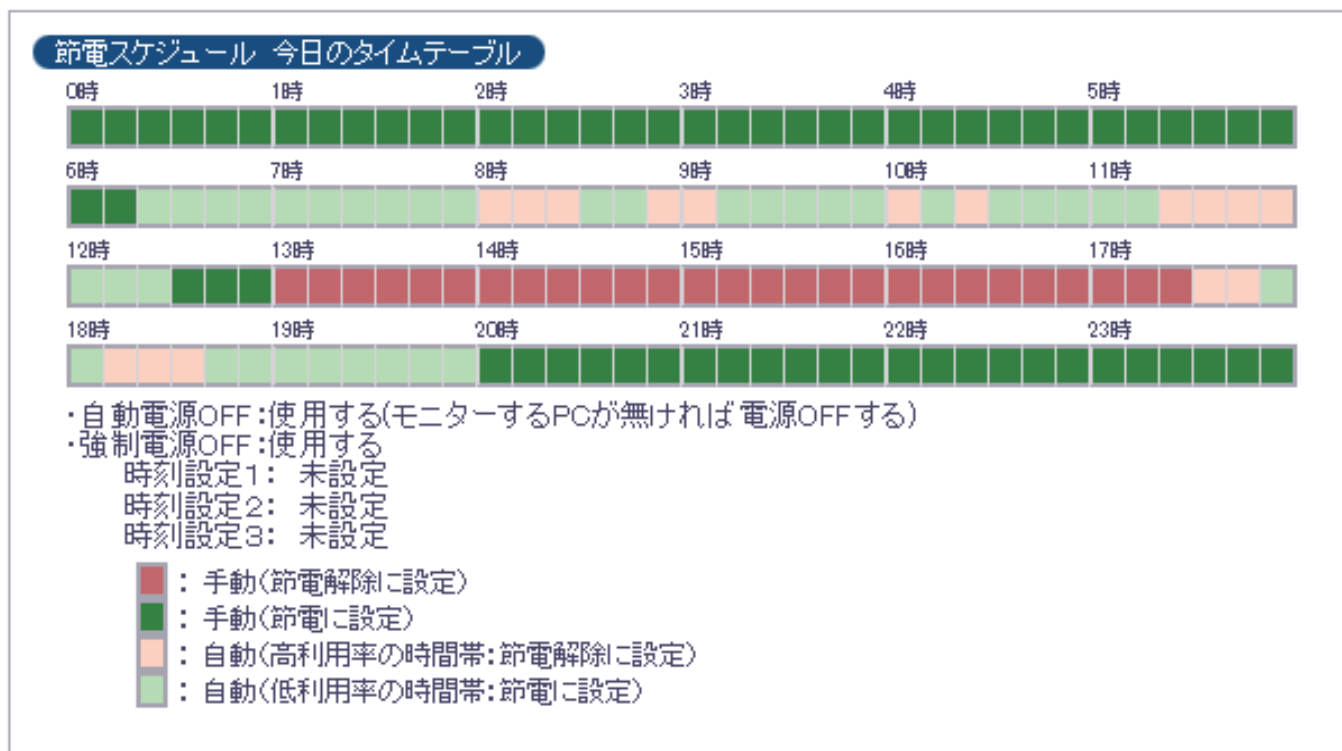
60-0201



60-0449

「節電スケジュール 今日の日タイムテーブル」が表示されます。

今日のタイムテーブルを確認する



60-0449

- の時間帯は、節電スケジュール設定により、手動で強制的に「節電機能」が「OFF (無効)」にスケジュールされています。印刷が終了しても節電状態には移行しないため、すぐに次の印刷ができます。
- の時間帯は、節電スケジュール設定により、強制的に「節電機能」が「ON (有効)」にスケジュールされています。印刷終了後節電状態に移行します。印刷データを受信すると印刷の準備が完了するまで「ウォームアップ」が行われ、その後印刷できる状態となります。
- の時間帯は使用頻度が高いため、「節電機能」が「OFF (無効)」にスケジュールされています。印刷が終了しても節電状態には移行しないため、すぐに次の印刷ができます。
- の時間帯は使用頻度が低いため、「節電機能」が「ON (有効)」にスケジュールされています。印刷終了後節電状態に移行します。印刷データを受信すると印刷の準備が完了するまで「ウォームアップ」が行われ、その後印刷できる状態となります。
- タイムテーブルが■表示のとき
「スケジュール機能無効 (節電移行時間に従います。)」に設定しているとき



注意

- ・プリンター導入後1ヶ月間は、節電スケジュールを設定するため使用状況を収集して集計する情報収集期間です。自動スケジュール時間帯は「節電」が「ON (有効)」の設定で動作します。

自動的に電源をOFFにする時間を設定する

<設定例>

プリンターの電源をOFFにし忘れて帰ってしまうことがあるので、夜10時の時点で自動的に電源をOFFにしたい

1. Web 設定画面を表示して、「設定変更ログイン」ボタンをクリックします。
2. 「機器設定」、「節電設定」の順に「+」ボタンをクリックして、「節電形態」をクリックします。
3. 「強制電源OFF」を「使用する」に、「時刻設定1」を「22時0分」に設定します。
4. 「設定変更ログアウト」ボタン、または「終了」ボタンをクリックします。

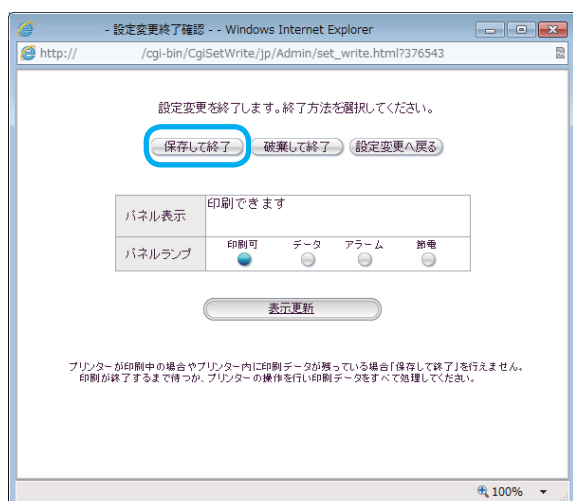
「設定変更終了確認」画面が表示されます。

5. 「保存して終了」ボタンをクリックします。

「保存して終了」ボタンをクリックした場合だけ設定が変更されます。



60-0128



60-0112



ポイント

切り忘れ防止機能には、次の2つの機能があります。これらの機能は、「節電スケジュール」とは別に設定できます。

自動電源OFF機能

本プリンターをモニタリングしているコンピューターからの接続が、すべて切断された場合に、自動的にプリンターの電源をOFFする機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。

- SPEEDIA マネージャーで、「切り忘れ防止」の「プリンターの自動電源OFF機能の対象とする」を設定しているコンピューターからの接続が、すべて切断された場合にプリンターの電源がOFFされます。
- この機能は、ネットワーク接続時に使用できます。ローカル接続している場合は、「使用しない」設定にしてください。
- 「節電レベル」が「レベル2（ディープスリープ）」に設定されている場合は使用できません。

強制電源OFF機能

指定の時刻を過ぎると、印刷データがないことを確認した上で、強制的にプリンターの電源をOFFする機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。

- 指定できる時刻は、最大3つです。
- 強制電源OFF時刻設定を0時0分とした場合は「未設定」として扱います。